



拉致問題解決に協力を！ 人権教育啓発講演会

12月4日（日）、中央公民館において、人権教育啓発講演会が開催されました。

講演会には、北朝鮮による拉致被害者に政府認定されている市川修一さんの兄、健一さん夫妻を迎え『家族の絆』と題した講演が行われました。

講演では、家族の苦悩や早期救出のための協力活動で深まった家族の絆に触れ、拉致問題の解決に向けて、「風化させないでください。私たちと一緒に戦ってください」と協力を呼びかけました。

ロビーでは、拉致被害の疑いが指摘されている本町野方の園田一さん夫婦の早期救出などを呼びかける署名活動も行われました。



▲講演会で拉致問題の早期解決と協力を呼びかける市川健一・龍子夫妻



日本に元気を届けよう！ 野方deクリスマスプロジェクト

12月23日（金）、大崎ものづくり会館において、日本に元気を届けよう野方deクリスマスプロジェクトが開催されました。

参加した子ども達は、空き瓶を利用したエコキャンドルづくりにチャレンジしました。

エコキャンドルは、不要になった空き瓶におはじきを張り付けた後、隙間を紙粘土で覆い、瓶のなかに蜜ろうでつくったキャンドルを設置して完成です。

大崎ものづくり会館が節電と被災地に想いを届けよう企画したもので、スタッフの北郷いずみさんは、参加者に「家族と一緒に自宅で火を灯してみよう」と節電を呼びかけました。



▲エコキャンドルづくりの後は、クリスマスパーティーで交流を深めました。



人権について考えよう！ 曾於部会人権キャラバン隊

12月5日（月）、曾於部会人権キャラバン隊が本町を訪れました。

この訪問は、国際連合が定める人権デー（12月10日）を最終日とする1週間が『第63回人権週間』と定められており、その間に人権の尊重と人権に関する正しい理解を呼びかけるための啓発活動です。

本町の人権擁護委員の稲葉正和さんが、住民の皆様へ人権問題に対する理解を深めるためのメッセージを町長に伝達しました。

人権とはすべての人が生まれながらに持っている、幸せに生きていくための権利です。あらゆる差別や偏見をなくし、みんなが明るく暮らせる社会をつくるために、身近なことから人権を考えてみてください。



▲町長にメッセージを伝達する曾於部会人権キャラバン隊